

合同運用金銭信託追加型商品ファンド

MF オープン

愛称 スペードのA

月次運用レポート



作成基準日 2012年1月31日



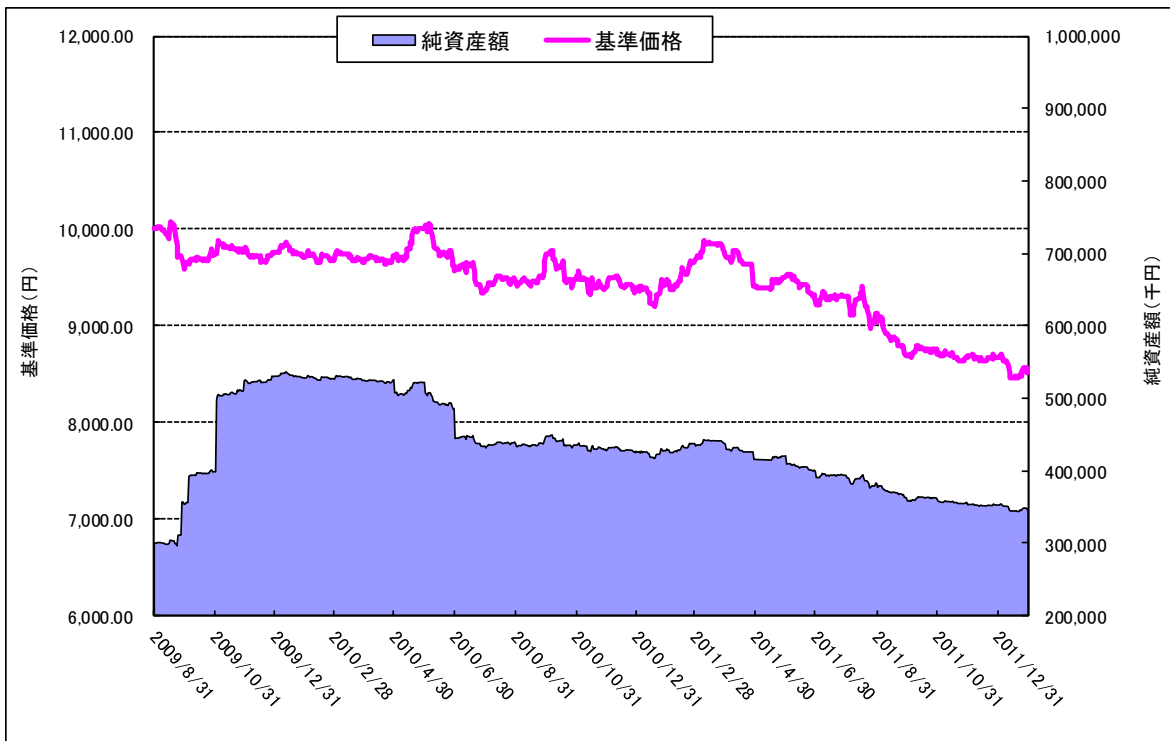
商号等: ばんせい証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号
加入協会: 日本証券業協会(会社コード0281)
社団法人 日本証券投資顧問業協会(会員番号012-02433)
指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの運用実績

基準価格・純資産額の推移

※設定時の基準価格は1万円です。



2012年1月末現在

基準価格: 8,541.37円

純資産額: 347百万円

直近4計算期間の分配金額

| 計算期間末日 | 分配金(1口当り) |
|------------|-----------|
| 2011年 2月末 | — |
| 2011年 5月末 | — |
| 2011年 8月末 | — |
| 2011年 11月末 | — |

※各計算期間末日の基準価格が当初基準価格の1万円を超えると見込まれる場合、超過分を限度に配当が行われる場合があります。

直近6ヶ月の月間騰落率推移

| 期間 | 2011/8 | 2011/9 | 2011/10 | 2011/11 | 2011/12 | 2012/1 | 設定来 |
|-----|--------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 騰落率 | -1.87% | -4.72% | 0.22% | -0.32% | -0.15% | -1.45% | -14.59% |

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



運用概況①～海外商品先物取引～

市況

1月の海外商品先物市場は、個別銘柄によってまちまちの展開となりました。原油は月間を通じほぼ横ばいに推移しました。上旬にかけては、EU加盟国によるイラン産原油の輸入禁止措置を巡り100ドル台の強い市況が続きました。中旬にかけては、前述の禁止措置が6カ月先送りされる可能性が示唆されたことから売られました。下旬にかけては、米連邦準備理事会（FRB）による超低金利政策の長期化方針を背景に、原油の需要増加が期待され買われる場面もありました。

金は月間を通じて上昇しました。欧州債務危機やイランの核開発問題による地政学的リスクなどから安全資産としての需要が高まりました。また、中国による昨年11月の香港経由の金購入が過去最大となったことも買いを後押ししました。下旬にかけても、ユーロが対ドルで上昇しドルが対主要通貨で全面安となったことから、ドルの代替資産として金需要が高まり上昇しました。

国際商品先物指標であるCRB指数は月間で約2.3%の上昇となりました。

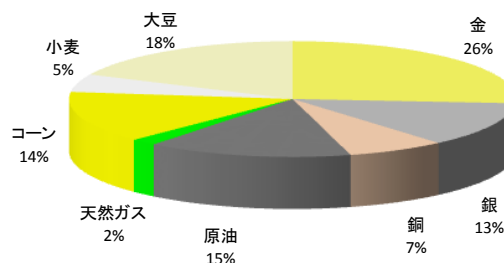
運用概況

採用プログラムの内、クオンツ型運用プログラムは、金・銀が年初から上昇相場となり、プログラムも買い主導であったため利益を上げましたが、年明けから1月中旬にかけて急落した穀物の取引や昨年までの相場から一転して上昇した銅の取引で損失が出たためマイナス運用となりました。インデックス・トレンドフォロー型運用プログラムは、月前半にかけては、金が強含む一方で、原油が100ドル台近辺でもみ合い、売り買いが交錯する展開となってトレンドが出ず、損失となりました。月後半に上昇基調となって利益を積み重ねたものの前半の損失を取り戻すには至りませんでした。

運用方針

個別銘柄の価格変動とマーケット全体の動向を詳細に分析し、検証を重ねた運用プログラムを用いて海外商品市場における複数銘柄をシステマチックに取引することにより、中長期的に安定した収益の獲得を目指します。金融市場は昨年後半に比べて落ち着いてきましたが、引き続きリスク管理に注意を払いつつ運用資産の拡大に努めてまいります。

作成基準日時点の配分状況

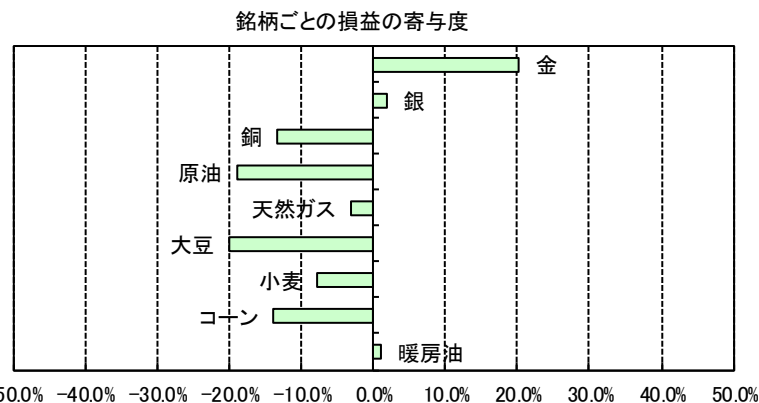


【運用資産規模】

| | |
|------|-----------|
| 金 | 約 2,654万円 |
| 銀 | 約 1,268万円 |
| 銅 | 約 722万円 |
| 原油 | 約 1,502万円 |
| 天然ガス | 約 190万円 |
| コーン | 約 1,462万円 |
| 小麦 | 約 507万円 |
| 大豆 | 約 1,828万円 |

上記の資産配分は、2012年1月末時点における未決済銘柄を対象に計算されたものです。

銘柄別の損益寄与度



上記損益の寄与度は、2012年1月度の各銘柄の月間損益（絶対値）を分母として割合を算出したものです。

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様自身でご判断ください。



運用概況②～有価証券等投資・デリバティブ取引～

【有価証券等投資】

保有銘柄一覧

【債券】

| 銘柄名 | 国名 | 種類 | 格付 | 発行日 | 償還日 | 額面 | 利率 | 月末評価額 |
|-----------------|----|--------|----|------------|------------|-------------|--------|-------------|
| 株式会社ゼット第1回無担保社債 | 日本 | 確定利付社債 | なし | 2009/11/18 | 2014/11/18 | 100,000,000 | 年率5.0% | 100,000,000 |

【その他有価証券】

| 銘柄名 | 国名 | 種類 | 口数 | 月末評価額 |
|-------------------------|--------|-----------------|------------|------------|
| BSV Limited Partnership | ケイマン諸島 | リミテッドパートナーシップ出資 | 63,100,166 | 42,971,591 |

運用概況

海外上場商品を投資対象とするコモディティ・インデックスファンド「BSV Limited Partnership」は、1.51%のプラスリターンとなりました。

【当月の新規投資】

※新規の債券投資は行いませんでした。

市況

1月の国内債券市場は価格が上昇(金利は下落)しました。米連邦準備理事会(FRB)が超低金利政策の延長を表明したことから米国の長期金利が低下し、国内金利にも低下圧力が加わりました。月末の10年国債利回りは先月末に引き続き1%割れの水準となりました。

1月の日経平均先物市場は約4%強の上昇となりました。堅調な米国景気や欧州の債務不安の一服による円安・ユーロ高を背景に買われ、終値としては昨年11月以来となる8800円台を回復しました。

運用方針

リミテッド・パートナーシップ(BSV Limited Partnership)への出資持ち分を通じ、実物資産であるコモディティの上昇局面から収益を得ることを目指して参ります。

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様自身でご判断ください。



お申込みメモ

| | |
|---------|--|
| ファンドの名称 | MFオープン「愛称:スピードのA」 |
| 申込単位 | 50万円以上、1万円単位 1口当たりの購入価格＝購入基準日における基準価格 (当初基準価格1万円) 基準価格:1口当たりの純資産額を表し、平成21年9月1日の運用開始当初は1万円から始まり、その価格は日々変動します。 |
| 販売手数料 | 申込金額に3.15%の料率を乗じた金額(消費税込み) |
| 募集期間 | 平成21年9月1日(火)から平成26年8月29日(金)まで |
| 申込方法 | 購入申込書に必要事項をご記入・ご捺印の上、ばんせい証券株式会社(以下「販売会社」といいます。)の本支店へご提出いただく方法にてお申込みいただけます。 《申込期限》 募集期間内の毎週金曜日正午(営業日でない場合は前営業日) ※販売会社にて証券取引口座を開設されていないお客様につきましては、お申込み前に販売会社にて証券取引口座を開設する必要があります。 |
| 払込方法 | 下記払込期限までに申込金と販売手数料の合計額を販売会社が指定する銀行口座へお支払いください。尚、送金に掛かる手数料は投資家のご負担となります。 《払込期限》 申込期限日の午後3時。販売会社におけるお客様のお振込専用口座において、払込期限の午後3時までにご入金の確認がとれたお申し込み分について有効となります。 |
| 購入基準日 | 追加募集における購入基準日は、払込期限日と同日となり、当該日の基準価格が、追加募集時の購入価格となります。なお、基準価格は翌営業日に確定し、販売会社のホームページに公表されます。 |

| | |
|---------|--|
| 契約締結時書面 | ご契約の際には、金融商品取引法第37条の4に規定される「契約締結時交付書面」をよく読み、購入しようとするファンドの内容を十分にご理解ください。 |
| 契約の解除 | 本ファンドは、金融商品取引法第37条の6に規定される契約の解除は適用されません。但し、商品ファンド関連信託受益権販売契約を締結した投資家は、払込期限日の前日までに書面により販売会社へ通知することによって、当該契約を解除することができます。 |
| 信託終了日 | 信託終了日は平成27年8月31日を予定しています。また、一定の要件により、繰上償還を行う場合もあります。 |
| 中途解約 | 平成22年3月1日(月)から平成26年8月25日(月)までの中途解約期間中、毎月25日(休業日の場合は前営業日)を締切日とする中途解約が可能です。 但し、最初の購入時の購入基準日から6ヶ月目の応答日の前日までの期間は中途解約を申込みすることはできません。 |
| 公租公課 | 本ファンドにより得られる収益は、利子所得として20%(所得税15%、地方税5%)の税率で源泉徴収いたします。 |

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



手数料・費用・リスク

本ファンドに係る手数料

| | |
|-------|---|
| 販売手数料 | 申込金額に3.15%の料率を乗じた額(消費税込み) 販売手数料は、申込金と併せて販売会社が指定する銀行口座へお支払ください。 |
| 解約留保金 | 中途解約を行う際、解約償還金に0.25%を乗じた金額が解約留保金として差し引かれ、ファンド資産に留保されます。 |

本ファンドに係る費用

| | |
|----------|---|
| 信託報酬 | 信託財産の純資産額に年率0.5%の料率を乗じた金額(但し、計算期間毎の最低信託報酬額は125万円)を受託者に対して支払います。 |
| 営業者管理報酬 | 匿名組合の運営、管理等の報酬として組合財産の純資産額に年率2%を乗じた金額を営業者に対して支払います。 |
| 投資顧問管理報酬 | 商品投資顧問業者及び投資運用業者に対し、運用委託額に年率0.5%を乗じた金額を支払います。 |
| 投資顧問成功報酬 | 商品投資顧問業者及び投資運用業者に対し、計算期間毎に、過去の計算期間末運用収益累積額の超過額の15%を成功報酬として支払います。 |
| 先物取次手数料等 | 商品先物取引等の執行に対する取次手数料として、取引の都度、取次会社に対して支払います。主たる運用を行う米国市場では、1取引単位当たり往復で20米国ドルを上限とします。 |
| その他費用 | 営業者の維持費用、監査費用、その他実費で支払う弁護士費用や銀行送金手数料などファンドの運営上必要となる費用が、本ファンドより支払われます。 |

本ファンドの主なリスク

| | |
|--|--|
| 本ファンドは、匿名組合型商品ファンドを通して、主として海外の商品先物市場へ投資を行います。また、国内外のデリバティブ市場への投資や公社債等の債券投資も行います。 | |
| 価格変動リスク | 本ファンドは、商品先物市場、デリバティブ市場の価格動向並びに金利動向や為替相場は、世界中の政治・経済・社会情勢、天候や気候の変化、その他様々な要因により変動するため、本ファンドの基準価格はこれらの価格変動の影響を受け、大きく下落することがあります。 |
| 信用リスク | 本ファンドは、投資家の申込金を本ファンドに関連する会社等を経由し留保するため、これら関連会社等の倒産などを理由とする損失により、投資元本の一部もしくは全部を失うおそれがあります。 |
| 元本リスク | 本ファンドは、投資元本および利回りが保証されたものではなく、発生することのある損失は全て投資家に帰属します。その結果、投資元本の一部もしくは全部を失うおそれがあります。 |
| 商品ファンド特有リスク | 上記の他、「先物取引に係る投機性」「先物取引の資産運用効率」「先物取引の流動性」「ファンドの構成員に係る信用リスク」等の商品ファンド特有のリスクがあります。詳細は契約締結前交付書面を必ずご確認ください。 |

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



Bansei

本ファンドの構成員等

■ 金融商品取引業者(委託者兼当初受益者、販売会社)

ばんせい証券株式会社

関東財務局長(金商)第148号

加入協会:日本証券業協会(会社コード0281)

社団法人 日本証券投資顧問業協会(会員番号012-02433)

指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

※ MFオープン お問い合わせ先

ばんせい証券株式会社

フリーダイヤル 0120-170-140

(平日9:00~17:00)

■ 運用業者(受託者)

ソシエテジェネラル信託銀行株式会社

■ 商品投資顧問業者・投資運用業者

ばんせい投信投資顧問株式会社

商品投資顧問業 農経(1)第19号

投資運用業、投資助言・代理業 第2種金融商品取引業 関東財務局長(金商)第384号

加入協会:(社)日本証券投資顧問業協会(会員第011-00822号)

日本商品投資顧問業協会

■ 営業者(匿名組合)

ビーワイ・インベストメント・リミテッド

■ 運用管理事務委託会社

ばんせい証券株式会社

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

